

# 令和5年度事業報告

## 令和5年度庶務事項

### 1 評議員・役員構成

(令和5年度末、五十音順)

役 職	氏 名	兼職状況
評 議 員	菊 池 透	岩手県商工会議所連合会専務理事
評 議 員	桐 田 教 男	宮古市副市長
評 議 員	熊 谷 泰 樹	岩手県ふるさと振興部長
評 議 員	澤 里 充 男	久慈市副市長
評 議 員	引屋敷 努	大船渡市副市長
評 議 員	平 松 福 壽	釜石市副市長
評 議 員	水 野 雅 裕	岩手大学研究支援・産学連携センター長
代 表 理 事	八重樫 幸 治	岩手県副知事
業 務 執 行 理 事	菅 原 健 司	岩手県ふるさと振興部副部長兼県北・沿岸振興室長
業 務 執 行 理 事	中 野 文 男	岩手県ふるさと振興部部付
理 事	青 山 潤	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター長
理 事	石 川 義 晃	三陸鉄道株式会社代表取締役社長
理 事	菅 野 信 弘	北里大学海洋生命科学部長
理 事	熊 谷 敏 裕	岩手県商工会連合会専務理事
理 事	後 藤 均	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
理 事	飛知和 比呂志	一般社団法人日本旅行業協会東北支部岩手県地区委員会委員長
監 事	及 川 崇	一般社団法人岩手県銀行協会常務理事兼事務局長
監 事	佐 藤 修	岩手県町村会参与兼事務局長

### 2 会議等開催状況

年月日	記 事
R5. 4. 1	理事会（決議省略） 第1号議案 業務執行理事の選定について ・菅原健司氏及び中野文男氏を業務執行理事に選定 第2号議案 評議員会の議事に付すべき事項について ・評議員 晴山真澄氏の辞任に伴い、後任評議員の候補者（平松福壽氏）を決定
4. 10	評議員会（決議省略） 第1号議案 評議員の選任について ・平松福壽氏を評議員に選任
4. 14	変更登記（理事及び評議員の変更）

4.18	令和5年度イベント開催事業審査委員会（於：トーサイクラシックホール岩手）
5.10	本監査（於：岩手県公会堂）
5.24	第1回理事会（於：トーサイクラシックホール岩手） 報告事項1 職務執行の状況について 第1号議案 令和4年度事業報告及び附属明細書の承認について 第2号議案 令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第3号議案 令和5年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
5.25	令和5年度調査研究事業審査委員会（於：エスポワールいわて）
6.9	第1回評議員会（於：岩手教育会館及びWeb会議システム） 報告事項1 職務執行の状況について 第1号議案 令和4年度事業報告及び附属明細書の承認について 第2号議案 令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第3号議案 任期満了に伴う評議員の選任について 第4号議案 任期満了に伴う理事の選任について 第5号議案 任期満了に伴う監事の選任について
6.9	理事会（決議省略） 第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選定について ・理事 八重樫幸治氏を代表理事に、菅原健司氏及び中野文男氏を業務執行理事に選定
6.19	令和5年度第1回新商品・地域サービス開発事業審査委員会（於：盛岡市勤労福祉会館）
6.23	変更登記（理事及び評議員の重任）
7.13	理事会（決議省略） 第1号議案 評議員会の議事に付すべき事項について ・評議員 志田努氏の辞任に伴い、後任評議員の候補者（引屋敷努氏）を決定
7.25	評議員会（決議省略） 第1号議案 評議員の選任について ・引屋敷努氏を評議員に選任
8.3	変更登記（評議員の変更）

8. 28	令和5年度第2回新商品・地域サービス開発事業審査委員会（於：岩手県庁）
9. 5	財政的援助団体等に係る監査（予備監査）（於：岩手県庁）
9. 28	公益法人認定法に基づいた行政庁による立入検査（於：岩手県庁）
11. 18	三陸観光フォーラム 2023（於：大船渡市魚市場）
11. 21	財政的援助団体等に係る監査（本監査）（於：岩手県庁）
11. 27	防災を学習する場づくり意見交換会（於：イーストピアみやこ） 地域人材育成セミナー（於：イーストピアみやこ）
12. 14	令和5年度研究成果報告会（於：宮古地区合同庁舎）
12. 19	令和5年度第1回三陸観光プランナー養成塾（於：北山崎ビジターセンター）
R6. 1. 26	第2回理事会（於：トーサイクラシックホール岩手） 報告事項1 職務執行の状況について 報告事項2 令和4年度計算書類の過年度訂正について 第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算等について 第2号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について 第3号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について 第4号議案 公益財団法人さんりく基金特定資産取扱規程の制定について 第5号議案 公益財団法人さんりく基金個人情報保護規程の制定について 第6号議案 公益財団法人さんりく基金が保有する文書等の開示等に関する規程の一部改正について 第7号議案 令和5年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
2. 6～7	令和5年度第2回三陸観光プランナー養成塾（於：青森県弘前市）
2. 7	第2回評議員会（於：岩手県医療局会議室及びWeb会議システム） 報告事項1 職務執行の状況について 報告事項2 令和4年度計算書類の過年度訂正について 第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算等について
3. 7	令和5年度第3回三陸観光プランナー養成塾（於：大船渡市民交流館）
3. 25	理事会（決議省略） 第1号議案 令和6年度事業計画の変更及び収支予算（補正第1号）について ・県負担金事業に伴う予算額の増額を承認

<p>3.28</p>	<p>評議員会（決議省略）</p> <p>第2号議案 重要な使用人の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局長及び事務局次長を選任</li> </ul> <p>第3号議案 評議員会の議事に付すべき事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事 菅原健司氏の辞任に伴い、後任理事の候補者（松本淳氏）を決定</li> </ul> <p>第1号議案 令和6年度事業計画の変更及び収支予算（補正第1号）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県負担金事業に伴う予算額の増額を承認</li> </ul> <p>第2号議案 理事の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松本淳氏を理事に選任</li> </ul>
-------------	--

# 基本財産造成状況等

1 基本財産造成状況（令和6年3月31日現在）	335,400,000 円
(1) 県	230,000,000 円
(2) 市町村	100,000,000 円
(3) 民間企業団体等	5,400,000 円

## 市町村別出捐内訳

（単位：千円）

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市 (うち旧大船渡市分) (うち旧三陸町分)	10,900 (7,300) (3,600)	宮古市 (うち旧宮古市分) (うち旧田老町分) (うち旧新里村分) (うち旧川井村分)	19,000 (10,000) (3,100) (2,900) (3,000)	久慈市 (うち旧久慈市分) (うち旧山形村分)	10,400 (7,500) (2,900)
陸前高田市	6,100			普代村	2,900
住田町	3,400			野田村	3,100
釜石市	9,200	山田町	5,400	洋野町 (うち旧種市町分) (うち旧大野村分)	7,800 (4,500) (3,300)
大槌町	4,900	岩泉町	4,400		
遠野市 (うち旧遠野市分) (うち旧宮守村分)	9,400 (6,200) (3,200)	田野畑村	3,100		
		合 計			100,000

## 民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

・三陸地域金融機関取りまとめ 幹事 岩手県銀行協会 (岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、 宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫)	2,000 千円
・新日本製鐵株式會社釜石製鐵所	1,000 千円
・東北電力株式会社岩手支店	1,000 千円
・日本電信電話株式会社盛岡支店	1,000 千円
・久慈商工会議所	100 千円
・宮古商工会議所	100 千円
・釜石商工会議所	100 千円
・大船渡商工会議所	100 千円
民間企業・団体等計	5,400 千円

2 基本財産評価損益（令和6年3月31日現在）	2,703,576 円
-------------------------	-------------

基本財産合計額 338,103,576 円

# 令和5年度事業実施状況について

## I 基本方針

当財団の設立目的である三陸地域及びその周辺地域の振興を図るため、東日本大震災津波発災以降、復旧・復興に重点的に取り組んできたところであるが、令和5年度は、三陸地域及びその周辺地域の振興のため、市町村や関係団体等との一層の連携強化を図り、次の事項を重点的に取り組んだ。

- ・地域課題の解決に取り組み、地域振興につながる事業の推進
- ・交通ネットワークや地域資源を活用した観光地域づくりの推進
- ・三陸地域の振興に資する調査研究や活動への支援

## II 事業別の実施状況

### 1 調査研究等事業

#### 1 三陸地域の観光地域づくり体制の整備 DMO事業部

〔目的〕

三陸地域の振興のため、観光関連事業者と連携を図り地域一体となった三陸地域の観光地域づくりを推進する。

〔実施状況〕

令和4年度に沿岸地域に活動拠点を移して現地機能を強化したDMO事業部（三陸DMOセンター）の体制を継続し、関係団体との更なる連携を図った。

〔実績額〕

16,911,726円

〔主な成果〕

沿岸地域（宮古市）に設置した活動拠点の業務体制を継続し、地域の観光関連事業者等との連携、情報共有等を図り、観光周遊実証調査や人材育成事業等を実施することで、三陸地域の観光地域づくりを推進した。

〔今後の展開〕

岩手県への訪日外国人旅行者が増加している好機を捉え、その効果を三陸地域に波及させるため、三陸地域の観光地域づくり関係者と連携し、訪日外国人を中心に需要の拡大が見込まれる体験型観光に対応するコンテンツの造成や販路拡大、受入体制整備に取り組み、三陸地域での観光地域づくりを推進する。

#### 2 三陸地域における観光周遊実証調査、デジタル動態調査等の分析 DMO事業部

〔目的〕

令和4年度に実施したデジタル動態調査（以下「デジタル調査」という。）の分析データを活用した三陸地域全体の振興方策の検討等を行うとともに、地域資源を生かした観光産業の振興や三陸地域のブランド確立などにかかる事業の総合的な展開、三陸地域一体となった魅力的な地域づくりを推進する。

〔実施状況〕

三陸観光プランナーが造成した新たな体験プログラムのモニターツアーを開催し、

三陸観光プランナーのスキルアップや旅行商品化に向けた体験プログラムの磨き上げを実施した。

また、三陸沿岸道路の全線開通など三陸地域の状況変化による来訪者の属性や動向などのデジタル調査の分析データを市町村等へフィードバックする報告会を開催した。

○ モニターツアーの実施結果

日 付：令和5年7月7日（金）

場 所：洋野町内

参加者：15名（うち旅行業者等5社）

○ デジタル調査等の分析に関する報告会

第1回：5月16日（釜石市）参加者11人

第2回：5月19日（久慈市）参加者6人

第3回：5月23日（宮古市）参加者9人

[実績額]

114,118円

[主な成果]

三陸観光プランナーが企画した体験プログラムの旅行商品化に向けて、改善点の洗い出しやその対応の検討を行うとともに、ツアー企画やガイドを通じて、三陸観光プランナーの活動現場における対応力やコーディネート力の向上が図られた。

また、デジタル調査の結果を市町村等にフィードバックすることで、三陸地域における観光客の動向や課題を共有することができた。

[今後の展開]

デジタル調査や岩手県観光統計に加えて、関係機関等が保有する三陸地域各所の来場者等データを収集する。また、増加する訪日外国人旅行者の三陸地域への入込客数などの流入経路や動態の分析を充実させる必要があることから、新たに外国人観光客も含めたアンケート調査実施による現状把握を行う。

### 3 三陸地域の観光情報等の発信と広域連携によるプロモーションの展開 DMO事業部

[目的]

三陸地域ならではの観光資源や体験コンテンツ等を生かし、三陸地域一体となった広域でのプロモーションを実施するもの。

[実施状況]

「三陸観光フォーラム2023」を開催したほか、日本最大級の観光イベントの1つである「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」に出展し、三陸地域の観光情報を発信するとともに、三陸地域への旅行にかかるニーズ調査及び三陸地域の観光コンテンツの旅行会社等に対するPRを実施した。

さらに、三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ〜いわて三陸観光ガイド〜」により、観光ルート、観光施設、宿泊施設、体験プログラム、食、土産、イベント等の三陸地域の観光情報を国内外に向けて一元的に発信した。

○ 三陸観光フォーラム2023

日 付：令和5年11月18日（土）

場 所：大船渡魚市場多目的ホール

参加者：56名

- ツーリズムEXPOジャパン 2023 大阪・関西  
日 付：令和5年10月26日（木）～29日（日）  
場 所：インテックス大阪  
商談件数：39件
- 三陸観光ポータルサイト  
アクセス数：671,866pv（R5.4月～R6.3月）

〔実績額〕

2,453,521円

〔主な成果〕

三陸観光フォーラム2023は、観光地域づくりの専門家による基調講演や地元の観光団体の代表者によるパネルディスカッションを行うことで、広域連携による観光地域づくりの意識醸成の推進や地域の連携強化にもつながる取り組みとなった。

ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西への参加により、旅行会社に対して三陸地域の観光コンテンツを広く発信することができた。

ポータルサイトの表示回数では、モデルルートが最も多くなっており、三陸地域に興味を持つ人々に向けて、訪問に当たっての具体的な情報を提供することができた。

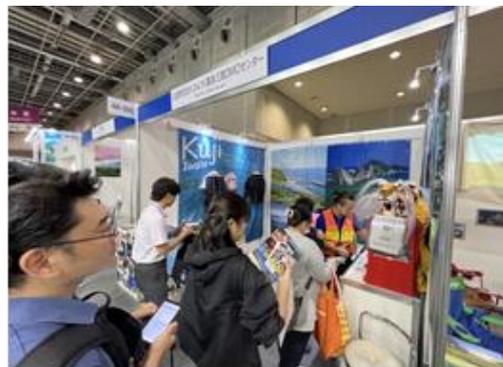
〔今後の展開〕

地域関係者が連携した観光地域づくりを促進するため、三陸観光フォーラムを引き続き開催するとともに、旅行会社に対し三陸地域の観光コンテンツについて直接情報を提供し販路拡大を図るための商談会を実施する。

三陸観光ポータルサイト「さんりく旅するべ～いわて三陸観光ガイド～」や公式SNSアカウントを活用し、関係機関と連携して国内外に対し効果的・タイムリーな情報発信を行うことで三陸地域の観光情報を発信する。



三陸観光フォーラムの様子



ツーリズム EXPO の様子

#### 4 三陸総合振興体制整備に向けた調査・研究 企画事業部

〔目的〕

三陸地域の総合的な振興を推進する体制の具体化に向けて検討を進める。

〔実施状況〕

長期的な視点に立ち、復興の先を見据えた三陸地域の持続的な振興を図るため、三陸地域の防災学習に係る大学や企業等のニーズや他県の先進事例を情報収集するとともに、総合的な推進体制の構築に向けた検討を行った。

〔実績額〕

なし

[主な成果]

三陸地域の総合的な振興を推進するため、観光地域づくりを中心とした体制について、岩手県と連携し検討を進めた。

[今後の展開]

三陸地域の総合的な振興に向けてさんりく基金のあり方も含めた検討を進める。

## 2 人材育成事業

### 1 三陸地域における観光人材の育成 DMO事業部

[目的]

三陸地域の観光地づくりに資するため、観光関係者の連携の推進、着地型旅行商品づくりを担う人材育成を図る。

[実施状況]

地域資源を生かした体験プログラムをはじめとする商品企画を担う人材を育成するため、三陸観光プランナー養成塾を開催するとともに、これまで養成した三陸観光プランナー相互のネットワークの強化を図るため、三陸観光プランナー養成塾生同士による意見交換会を実施した。

#### ○ 三陸観光プランナー養成塾の開催内容

	開催日時	開催地	主な内容
第1回	R 5. 12. 19	田野畑村	観光体験コンテンツの作り方、体験コンテンツの販売についての講演とワークショップを実施 参加者：10名
第2回	R 6. 2. 6～7	弘前市	観光体験コンテンツのECサイトでの販売における情報分析と販売戦略等を学ぶ研修、ワークショップを実施 参加者：14名（うち5名はプランナー養成塾OB・OG）
第3回	R 6. 3. 7	大船渡市	旅行者の旅中情報の取得（観光CRM）と販売戦略への活用についての講演、新規参加受講生による販売戦略を意識した旅行商品案の発表 参加者：9名

#### ○ 三陸観光プランナー養成塾生同士による意見交換会

	開催日時	開催地	参加者
第1回	R 5. 6. 7	釜石市	14名（現地13名、オンライン1名）
第2回	R 6. 3. 7	大船渡市	7名（現地7名）

[実績額]

588,834円

[主な成果]

令和5年度は新規に9名の三陸観光プランナーを養成し、平成28年度から累計100名を養成した。

[今後の展開]

これまで養成してきた三陸観光プランナーは、各市町村にて旅行商品の企画や商品化に向けた活動を実践しているが、訪日外国人旅行者や、防災や復興をテーマとした教育旅行、企業・大学研修のプログラム開発などの受入れ体制の充実を図るためには、三陸観光プランナー養成塾のOB、OGのスキルアップやプランナー相互の連携が求められていることから、新たに訪日外国人旅行者の受入れに向けた観光コンテンツづくり等を促進するスキルアップセミナーの開催や三陸観光プランナーのネットワーク

化に取り組む。



三陸観光プランナー養成塾の様子

## 2 三陸地域の地域振興担い手人材の育成 企画事業部

〔目 的〕

三陸地域の観光振興及び地域振興に資する人材の育成を図るとともに、三陸地域の振興に資する関係団体の事業を支援し、活動促進を図る。

〔実施状況〕

地域人材育成セミナー「情報発信・ブランディングを学ぶ」を開催（令和5年11月27日）したほか、三陸地域全体が震災・防災学習の場として認知度向上・定着、広域的展開が図られるよう、各地の震災・防災学習の連携を促進するための意見交換会を開催（令和5年11月27日）し、防災学習実施団体による事例共有及び情報交換を行った。

〔実績額〕

336,210円

〔主な成果〕

- (1) 「情報発信・ブランディングを学ぶ」セミナーについて、株式会社トラベルジップ及び合同会社ホームシックデザインから講師を迎えて開催した（参加者数：15名）。
- (2) 「防災を学習する場づくり意見交換会」について、一般社団法人東北観光推進機構から東北観光の動向とニーズについての情報提供と、参加者同士の意見交換を行った（参加者数：8名）。

〔今後の展開〕

三陸地域の交流人口拡大のため、地域振興の担い手を育成するためのセミナー等を実施するとともに、三陸地域全体が震災・防災学習の場として認知度向上・定着、広域的展開が図られるよう、各地の震災・防災学習の連携を促進するための人材育成等の取組を行う。



「情報発信・ブランディングを学ぶ」セミナーの様子



防災を学習する場づくり意見交換会の様子

### 3 三陸ジオパークの活動の推進 企画事業部

〔目的〕

三陸ジオパークの担い手となる地域住民ガイドを養成するため三陸ジオパーク推進協議会に負担金を拠出し、三陸ジオパークの活動を推進する。

〔実施状況〕

三陸ジオパーク推進協議会において、令和5年7月から12月にかけて認定ガイドの養成講座を開催し、各地の震災伝承ガイド等19名が参加した。

〔実績額〕

200,000円

〔主な成果〕

令和5年度は、認定ガイド10名が新規登録され、令和5年度末時点での認定ガイド登録者数は66名となった。

〔今後の展開〕

引き続き、三陸ジオパークの担い手として、その魅力を発信できる認定ガイドの養成を支援し、三陸ジオパークの活動を推進していく。

### 3 助成事業

#### 1 調査研究事業 総務管理部

〔目的〕

大学・研究機関等の知的資源を生かした三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い研究事業への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発等により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の促進を図る。

〔実施状況〕

- (1) 助成件数6件（助成総額 5,756,000円）（別添資料1参照）  
（※申請件数12件／採択件数6件）
- (2) 機関誌「三陸総合研究」第48号の発行（300部、9月発行）
- (3) 成果報告会の開催（令和5年12月14日 参加者42名（於：宮古地区合同庁舎））

#### 2 新商品・地域サービス開発事業 総務管理部

〔目的〕

地域の農林水産物や観光資源などの特性を生かした新商品開発や国内外からの観光誘客促進に向けた受入態勢の整備及び地域課題の解決に向けたサービスの開発等にかかる経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数11件（助成総額3,845,000円）（別添資料2参照）  
（※申請件数19件／採択件数14件のうち中止3件）



下道工芸



三陸ジンジャー



さんつな



一般社団法人竹駒牧野

### 3 イベント開催事業 総務管理部

〔目的〕

三陸地域の活性化及び交流人口の拡大に向けたイベント（震災復興に資する取組、また三陸地域として広域的波及効果がみられる取組と認められるもの）の開催経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 2 件（助成金額 9,555,000 円）（別添資料 3 参照）

（※申請件数 5 件／採択件数 2 件）



株式会社みちのりホテルズ



三陸聖地化委員会

## 事業報告の附属明細書の作成について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益財団法人さんりく基金

(資料1) 令和5年度調査研究事業(6件) 実績一覧

	申請者名 (代表者「◎」)	タイプ	事業名	助成金額 (円)
1	国立研究開発法人水産研究・教育機構	I	サーモン類の海面養殖に適した新たな種苗生産技術の開発	873,000
2	◎公益財団法人岩手生物工学研究センター 株式会社佐幸本店	II	ヤマブドウの未利用部位「梗」の機能性解明による全活用の実現	1,000,000
3	国立大学法人岩手大学	I	久慈産琥珀抽出物の化粧品開発の成功を踏まえた機能性表示食品利用への挑戦	1,000,000
4	学校法人岩手医科大学	I	ホヤの耐病性育種を目指した被嚢軟化症に対する免疫反応の解明	1,000,000
5	◎学校法人北里研究所 理研食品株式会社	II	褐藻マツモの人工種苗生産に関する実証試験	892,000
6	国立研究開発法人水産研究・教育機構	I	宮古湾における放流サケ稚魚と捕食者であるサバ類の遭遇実態の解明	991,000
			合計	5,756,000

※タイプ I …大学等研究機関が実施する調査研究事業

タイプ II …大学等研究機関と事業者が連携して実施する調査研究事業

## (資料2) 令和5年度新商品・地域サービス開発事業(11件) 実績一覧

	事業者名	事業者所在地	事業概要	助成金額(円)
1	久慈ファーム有限公司	二戸市	未利用資源の有効利用に向けた親豚(大貫)の商品化及びブランディング(新ブランド「おそ咲きノ豚」)	500,000
2	下道工芸	洋野町	広葉樹の利用促進と水性工芸漆の活用による「色彩豊かな大野木工(お椀)」の提案	249,000
3	一般社団法人大野ふるさと公社	洋野町	洋野農場育ち「純和鶏 赤鶏」を活用した新商品「ひろの赤鶏カレー」開発	500,000
4	有限会社谷地林業	久慈市	森林未利用材を活用したバイオ炭の開発と農地施用による新たな付加価値の創出	247,000
5	一沢コンクリート工業株式会社	久慈市	塩害対策・再生資源利用型コンクリート製品「ICHB-FX可変側溝」の開発	500,000
6	株式会社プランタンいずみ	久慈市	北いわての高度な縫製技術を活用し、着物の古着を活用したリメイク商品「着物袖ZIPジャケット」の企画開発及びホームページ構築による全国展開・情報発信	448,000
7	網元茶屋 萬寶	釜石市	自社定置網で確保した鮮魚を活用した「持続可能な釜石さかなのまち」づくり	323,000
8	さんつな	釜石市	3.11のリアルな経験とサバイバル教育を掛け合わせた、新たな災害教育プログラム「サバイバルマスタープログラム SURVIVE3.11」の創出	233,000
9	気仙川漁業協同組合	住田町	気仙川の資源を活用した、持続可能な地域づくりのための河川情報サービスの企画開発等	252,000
10	一般社団法人竹駒牧野	陸前高田市	玉山金山遺跡群の観光資源を有効活用した誘客事業(「玉山金山水晶ガイドツアー」の開発)	254,000
11	三陸ジンジャー	陸前高田市	クラフトジンジャーシロップ「ジンジャーアップューディアアルみろく」開発	339,000
			合計	3,845,000

(資料3) 令和5年度イベント開催事業(2件) 実績一覧

	事業者名	事業名	イベント開催地	助成金額(円)
1	株式会社みちのりホテルズ	日越外交関係樹立50周年記念 日越祝祭管弦楽団宮古公演開催事業	宮古市	4,555,000
2	三陸聖地化委員会	三陸コネクトフェスティバル2023 (声優によるライブ、トークイベント、郷土芸能などカルチャーと文化を融合したイベントの開催。イベント開催に併せた鉄道ダンシ列車の運行など、三陸鉄道応援企画を実施。)	大槌町	5,000,000
			合計	9,555,000